

社会福祉法人翔洋会 令和 5 年度事業報告書

令和 5 年度は社会福祉法人翔洋会にとって依然として新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった 1 年となりました。大規模感染は少なく済みましたが、少数の感染が繰り返された結果、その都度職員が対応に追われ、年間を通して事業所の休止や入所等に影響がありました。

職員や家族が感染した際に人員的に厳しい体制が繰り返されましたが、各施設共に職員が全体で助け合い乗り切る事ができました。

令和 6 年度より義務付けられる事業継続計画（BCP）に関しても、この経験を糧として各施設がより実用的な内容に修正を行い備えています。

令和 5 年度を振り返り事業計画内の方針からみると、

○ 収入・支出に係る継続的な見直しによる経営基盤の強化

令和 4 年度に大きな負担となった電気料金に関して、全施設がプランの見直しを行いました。

宮浦荘は年間を通して市場連動型価格プランを採用しています。令和 2 年初頭に一時大きく価格が上がりましたが、その後令和 3 年・4 年と低い水準で安定しており、提携会社と相談のうえで採用いたしました。デマンドコントロールも併用し、使用料の低減に努めます。

灘崎荘はこれまで同様に固定制を選択しましたが、価格が抑えられる提携会社に変更しています。

富山荘・藤田荘・玉野山田荘は使用料が多くなる夏と冬を固定制で、少なくなる春と秋を市場連動制で行うハイブリッドプランを選択しています。使用料が多くなる時期に何かしらの要因で市場価格が跳ね上がった際のリスク軽減が目的のプランです。

また、藤田荘・玉野山田荘に関しては太陽光パネルを夏に設置しており、施設の経費削減に一役買っています。

空床期間を短縮するための待機者確保に関して、引き続き居宅介護支援事業所・病院等を訪問し営業活動に取り組んでおります。本年度も令和 4 年度同様に、感染症が発生した関係で事業を休止もしくは受け入れ制限せざるを得ない状況となり、空床・定員を埋めることに時間がかかってしまった事が大きく、それが介護保険事業収入に影響しております。

○ 人材確保及び定着

令和5年度はハローワーク及び社会福祉協議会主催の就職説明会に4回ほど参加していますが、ここ数年同様に来場する求職者の減少が著しく目立ちます。数少ない来場者の中で翔洋会に興味を持ってもらうために、ウェブサイトやSNSを利用した情報発信が必要不可欠となるため、富山荘・藤田荘・玉野山田荘がウェブサイト新設もしくは大幅リニューアルしています。情報発信の窓口を増やすようにInstagramでの発信も続けており、見てくれる方々も増えています。SNS発信は主に求職者に向けて翔洋会の施設を知ってもらうためのツールであり、今後も職員の研修や利用者様とのイベントごと等を公開していきます。

職員の確保が困難になっている状況の中で、辞めない職場づくりが重要となる訳ですが、その一環として各種ハラスメントを防ぐ体制づくりに力を入れた年度となりました。

9月と12月に法人監事の山本豊郎社会保険労務士に講師として施設の相談窓口担当者を対象とした研修をして頂きました。

1回目では、ハラスメント定義等の確認や事例検討を行い、2回目では実際に相談を受ける際の注意点等を教えて頂きました。

また、ハラスメント相談窓口を施設とは別に法人にも設けることで法人内のあらゆる相談ケースに対応できるようにしています。

入職した新卒採用及び中途採用の職員さんに向けてのフォローアップの点でも各種専門部会のメンバーを中心として入職時の研修を施設ごとだけではなく合同で行うこともあります。また各施設共に適宜面談を行い、入職者の不安要素を取り除き定着を促しています。

実際の職員採用では、各施設ともにハローワークの紹介から紹介会社経由へと比重が移っており、それに伴い採用にかかる手数料も増加しています。

令和5年10月にミャンマーから新たに2名の職員が加わり、令和5年度末時点で翔洋会には4名の外国人労働者が所属しています。

○ BCP（事業継続計画）の法人全体への周知と研修・訓練の計画及び実施

各施設ともに管理者及びBCP推進委員会メンバーが中心となり、BCPの構築を進めていきました。実際に令和5年度中に訓練・研修を行った施設もあります。令和6年4月より義務化となっており、書類等の体制に不備がない様に施設間の情報共有を行っています。

本年度より訓練・研修を全施設にて行う事となりますので、その中で得た情報・教訓等を法人全体で共有して、それぞれのBCPをより実践的なものに進化させていきます。

企業主導型保育事業所ジョウ・キンダーガーデンも園児数が4月は17人でしたが、5月以降は定員19人を継続することができ、また退職者を出すこともなく、新園長のもと職員一同

の頑張りのもあり施設として機能し始めた1年となりました。

地域貢献の面からみると福祉有償運送は継続して地域ニーズが高く、主たる業務との調整を行いながら無理のない計画で今後も運営を行っていきます。

また、藤田大曲地区及び宮浦地区にて買い物支援を行っていますが、こちらも良い評価を頂いています。

「ささえあいサロン宮ノ浦」も地域の方が毎週立ち寄られ「あつ晴れももたろう体操」で体を動かされた後に憩いの場として、時には施設職員による介護相談の場としてご利用頂いています。

令和6年度に関しましては、高齢者福祉事業5施設及び公益事業1施設を経営する法人全体の業務の効率化や機能の強化にも取り組みながら、さらに地域・社会への貢献を意識した活動に注力してまいります。

○令和5年度 法人全体の採用者・退職者の状況

採用者 35名 退職者 33名

○令和5年度 人件費率（【 】内は給食委託会社管理費を含む）

灘崎荘 66%【72%】 富山荘 64%【69%】 藤田荘 67%【72%】 玉野山田荘 60%【65%】
宮浦荘 68%【76%】 ジョウ・キンダーガーデン 80%

法人本部の主な社外活動・研修

4月14日	社会福祉協議会灘崎支部 参与会
4月24日	富山学区オレンジカフェ青春
5月10日	介護施設における安全対策担当者養成研修
5月21日	岡山県社会福祉協議会 福祉の就職総合フェア
6月30日	第1回翔洋会職能委員会
7月9日	宮浦地区 新緑交流会
7月24日	富山学区オレンジカフェ青春
9月13日	法人ハラスメント防止研修1回目 「安心して働ける職場づくりの為に ストップ・ざ・ハラスメント」 講師：法人監事山本豊郎社会保険労務士（人事労務コンサルタント山本事務所所長）
11月13日	ハローワーク 介護就職デイ
11月19日	岡山県社会福祉協議会 福祉の就職総合フェア
11月25日	ハローワーク おかやま就活フェス
11月27日	富山学区オレンジカフェ青春 「介護施設ってどんなところなの？ ～介護施設の現場職員より

	経験談を聞く」 灘崎荘職員 2 名、宮浦荘職員 1 名と法人本部の 4 名で富山公民館にて講演行う
12 月 6 日	認知症サポーター養成講座
12 月 14 日	法人ハラスメント防止研修 2 回目 「相談者に対する相談対応 ～相談事例を使って～」 講師：法人監事山本豊郎社会保険労務士（人事労務コンサルタント山本事務所所長）
12 月 19 日	富山学区オレンジカフェ青春
2 月 26 日	富山学区オレンジカフェ青春
3 月 5 日	ヒューマンアカデミー主催 おかやま就活フェス

＊なお、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成しておりません。

翔洋会各専門職会議よりの報告は次のようになります。

専門職会議名	令和 5 年度に関しての報告
介護職員部会	・研修を行い職員の育成に結び付けていくことに関しては、新人研修含めリーダー、中堅職員に向けての研修を行う事ができた。各施設より複数の参加者が集まって研修を行う事ができて良かったのではないかと思います。 ・部会で議論する内容について、事前に募集しているが話が止まる事があった為、来年度からの課題である。職員にとって辞めない魅力的のある施設にしていくことに関し、どの施設も退職者があり、定着には繋がっていないと感じる為、来年度の目標でもある。部会のメンバーが業務に入っていたり、コロナ感染の為忙しくしていたり、開催出来ないことがあった為毎月行うことは難しかった。
生活相談員部会	・相談員会議は毎月行われており「集まる場を確保している」という点は良い事かと思います。その場で相談員としての情報交換は出来ていると思いますので今年度の目標という部分においては概ね目標通りではないのかなと感じています。 ・『それぞれの施設で発生した事故、苦情の内容やその後の対応について』、また『行政機関からの情報や指摘事項』等、相談員会議を毎月継続する事で 5 施設内での情報共有を行う事が出来、対応スキル向上に繋がっている。 ・相談員会議で各施設の事故報告、事故に対しての対応を確認、苦情内容の報告を行っており、情報を共有しています。目標は概ね達成でき

	ていると思います。今後も継続して行っていくことが大切ではないか と思います。
看護職員部会	・感染状況の対応等で、当初予定していた回数で部会を開催することは できなかったが、看護職員同士で情報を共有し、他施設の方針・業務 を理解していくことで自施設においても業務改善等の取り組みへの意 識向上に繋がった。
介護支援専門員部会	・アセスメント・モニタリング・ケアプラン・リスクマネジメントに関 して各担当を決めて動画・資料を基に研修を行った事により、各施設 にて業務を見直す機会となった。外部講師に依頼する研修に関しては 令和6年度に行う。 ・法人内の介護支援専門員の質の向上を図る。 ・2024 年介護保険制度改正のポイントについての研修会を行い、適正な ケアプランの作成に努める。
機能訓練指導員部会	・ポジショニングやシーティング方法を学んでいく中で機能訓練指導員 自身の意識も変わっていき、介護職員より関節の拘縮やポジショニ ングについて相談された際に、どのようにすれば安全安楽な姿勢を保て るのかを検討し、チームで繰り返しながら実施した。今後の課題とし てその意識を継続していくための方策を機能訓練指導員の立場から考 えていく必要がある。 ・体操やレクリエーション等、機能訓練指導員だけではなくチーム全員 で行えるように働きかけているが、人員不足で厳しい場面もあった。 ・本年度も新型コロナウイルスの影響で部会を予定通り行えなかったが、 リモートでは情報共有が困難な部分もあり、中止や延期となった。 ・運動療法以外に入居者様と一緒に脳トレにも取り組んできた。興味を もって一生懸命取り組んで頂けた方が多く、今後も取り組んで頂くこ とにより効果が期待できる事が分かった。 ・部会を定期的に行う事で、他施設の職員と意見交換できるのはよかつ た。
管理栄養士部会	① 目標達成できたこと ・毎月の手作りおやつ作り、カフェ、食事会等に入居者様の好みやリ クエストを取り入れ喜んでいただけた。入居者様のことを考えると 回数を増やしたいところだが、介護職とのとの業務連携も必要なた

	めに今後工夫していきたい。 ・栄養ケアや食事管理において疑問に感じたことは他施設栄養士に相談し、解決していくことができた。 ・他施設のミールラウンドを行い、個々の工夫を知ることができた。 ・育休代替の栄養士として着任して間がないが、このように他施設栄養士と交流の場が定期的にあることで連携しやすく、自施設の業務にも活かせる部分がある。 ・経口維持計画を行うにあたり対象の入居者様もご協力頂き、頸部触診法での嚥下評価を介護支援専門員と共に行わせて頂いた。1年続けていき、きれいな嚥下音の理解を深めることができた。今後の業務につなげていきたい。 ・嗜好調査も行い、入居者様の傾向を理解することができた。 ・栄養士会議は今までリモートが多かったが、実際に5施設が集まって開催できるようになり、意見交換等活発に行えて有意義だった。 ② 努力してみたが、いくつかの理由があり難しかったこと ・できれば栄養補助食品や高カロリー食、療養食等を提供したい方もおられるが、コスト等を含めた委託業者との連携の中でどう対処していくかを今後も引き続き検討していく必要がある。 ・新型コロナウイルスやインフルエンザの感染状況により、行事を中止せざるを得ない場合が複数あった。そのような状況の中で、夏祭り・花火大会・流しそうめん・芋煮パーティ・ドライブなどのイベントを実施できたことは良かったと思う。ひとつひとつはささやかな事ではあるが、いくつも積み重なることで、入居者様には大きなことになるのではないかと感じています。 ・入居者様に合った食事形態の提供、体重の維持も目標にしている。体重の維持と食事形態はセットで考えた方がよい時がある。
通所介護事業所部会	・通所介護事業所の場合、人員配置などの関係で職場を離れることが困難なため、業務優先もあり FAX での意見交換・共有とした。 ・通所サービスは、施設入所までの通過期間なので、施設に空きができると通所利用者様が入所となり、稼働率を維持していくことの難しさを同じ立場の職員同士で共有し、それを踏まえた上で今後の対策を意見交換し、それぞれの職場の業務に活用して行けた。

（灘崎荘関係）

《特別養護老人ホーム灘崎荘》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

ご利用者の平均介護度は 4.03（前年度 3.83）、平均年齢は 86.4 歳（前年度 85.5 歳）でした（ともに令和 6 年 3 月 31 日時点）。令和 5 年度中の入退所者は、入所者 17 名（前年度 23 名）、退所者 16 名（同 26 名）となりました。退所から次の方の新規入所までの空床期間に関しては、空所期間も短くとても順調に進んでいました。しかし病院への入院者も増加しており、年間を通しての平均利用状況（平均入所者数）は 76.7 名（前年度 76.3 名）、平均利用率 96.3%（前年度 95.4%）と前年度を少しですが上回る状況で推移しています。前年度に引き続き、手洗い・手指消毒の励行、マスク着用等、感染症予防・衛生管理対策と職員の体調管理の徹底を図ってきましたが、1 月（利用者 19 名・職員 7 名）と 2 月（利用者 27 名・職員 8 名）に新型コロナウイルス感染者が発生しました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で大掛かりな行事がなかなか行えなかったが、その中でも感染予防に配慮した上で入所者様に喜んで頂けるように、お祭り、食事会、カフェ等のイベントも定期的に行い、多くボランティアの方にも参加していただくことが出来ました。

また、職員の資質向上のため開催している施設内集合研修につきましては、①身体拘束・虐待予防、②感染対策・褥瘡予防、③事故防止と 3 種類の研修を各 2 回、年間計 6 回実施しました。外部研修の参加はオンラインでの参加を含め昨年度より多くの職員が参加しました。チームリーダーや役職者が個別に集まって業務改善や職員間の意識や介護技術のレベル向上を図るための会議等を行い、職員に申し送りを行い利用者様が安心・安全に過ごせる質の高い介護サービスの提供を心がけるよう努めました。またご利用者の日々の記録等をタブレットを活用し入力することでペーパーレス化及び業務の効率化を進めていき、1 月から本格的にスタートすることが出来ました。

今後も様々な課題が山積みではありますが、それらの課題を適切に対処し、安定した経営を保ち、ご利用者本位のサービス、その実現のための職員が働きやすい職場環境の整備に今後もより一層努めていきたい。

《短期入所事業》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

昨年同様に感染対策強化のためソーシャルディスタンスの確保に努めた。感染症蔓延によりショートステイサービス利用停止とならないよう、利用前や利用中の体調 確認をしっかりと行い、必要に応じ隔離や在宅療養で感染対策徹底を行った。利用者の状態把握に努めた上で利用者、家族のニーズに応じた健康管理、機能維持のためのサービス提供に努めました。

年間通しての利用率が 80.5%（前年度 75.0%）と前年度を上回りました。昨年度末の新型コロナウイルス感染症の影響で年度当初は厳しい状態でのスタートでしたが徐々に利用率も回復し夏場には 95%を超える高い利用率を達成することが出来ました。1 月と 2 月の特養での新型コロナウイルス感染症の影響もあって、利用予定のキャンセルもあり利用率が下がりましたが、1 年を通して考えると良かったと思います。

引き続き各居宅支援事業所への空床案内のお知らせと市内に限定せず空床のお知らせを行い、サービスニーズに応えられるよう進めていき、引き続き地域から信頼される対応を心がけます。

《灘崎荘通所介護事業所》（平成 5 年 7 月 1 日開設）

昨年に引き続き、新型コロナウイルスに十分に注意を払いながら運営を行いました。利用者個々のケアプランに基づき、日常生活上のお世話や個別の機能訓練、レクリエーションを通じて、楽しく居心地の良い場所の提供を目指し実施しました。1 日平均の利用者数 12.5 名という結果で、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの影響で通所サービスを一時的に休止せざるを得ない期間があったり、ご利用者のコロナ感染を恐れての利用控え等の影響、また長期入院をされた方もおり、特に冬に利用者数減少がみられました。新規利用者数は 8 名と苦戦しており、利用中止利用者数が 5 名と少なかったことが幸いしました。

営業するにあたって健康観察をしっかりと行い、新型コロナ感染拡大にならないように情報を共有しながら、全スタッフの健康管理とワクチン接種を実施して安心と安全な環境づくりを行ってきました。新規利用者の獲得のため、認知症等の困難事例の受け入れを積極的に行っており、来年度も継続して居宅介護支援センター等への訪問は続けていきます。

デイサービスへ来ていただいた利用者様へのレクリエーションに関しては、ボランティアの受け入れを少しずつですが再開しています、また職員が日々工夫をしながら新型コロナウイルスの感染対策を行いつつ、できる範囲内で行ってきました。来年度は更にボランティアの受け入れを増やし、以前のように大人数の受け入れは難しいかもわかりませんが活気を取り戻していきたい。

《灘崎荘在宅介護支援センター（居宅介護支援事業）》（平成 12 年 4 月 1 日開設）

令和 5 年度は常勤職員 2 人、非常勤職員 1 人体制での業務を遂行しました。

介護ケアプランが 792 件と前年度より 10%減、予防ケアプランは 290 件と前年度から 30%減とかなり減ってしまいました。包括支援センターや病院、サービス事業所等に今以上に営業活動を行っていき新規紹介に繋げていきたい。

認定調査件数は 27 件と前年と変わらず対応できた。

介護支援事業に関する研修については対面での研修も増加しているが、感染対策の観点から、オンラインも活用しながら職員のスキルアップを図っていきたい。

○ 特別養護老人ホーム灘崎荘

1. 特養利用者定員 80名 短期入所定員 10名

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	77	2,239	19	205
5	74	2,379	24	222
6	76	2,289	23	214
7	78	2,409	24	257
8	78	2,431	24	296
9	78	2,326	25	274
10	77	2,425	27	291
11	76	2,305	28	276
12	77	2,379	25	257
1	76	2,406	23	221
2	76	2,218	20	217
3	77	2,381	22	216
計	920	28,187	284	2,946

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和5年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和6年3月31日現在)

入所者 17名 退所者 16名

(3)利用者の介護度 平均 4.03

(4)利用者の年齢 最高 103歳 最低 51歳 平均 86.4歳

(5)利用者の男女別数 (男) 17名 (女) 61名 計 78名

3. 主要行事等の実施状況

4月	バーベキュー(屋上)、ドライブ、外出(近場の散歩)
5月	ドライブ、音楽会、外食
6月	外食、ドライブ、近所への散歩
7月	手打ちそば
8月	屋内での夏祭り
9月	灘崎荘敬老会
10月	灘崎荘フェスティバル(秋祭り)、お神輿
11月	おやつバイキング、ドライブ、演奏会、カラオケ大会、外食、買い物
12月	クリスマス会
1月	お屠蘇、初詣、おみくじ、福笑い、外食
2月	節分・豆まき
3月	※コロナクラスター感染により実施できず

※上記以外に誕生日会を随時開催 手作りおやつ・定例食事会・カフェを毎月開催。

4. 地域・その他との交流の状況

地域清掃活動(6/4、10/1) 倉敷中央高校ウェルフェアデイ(9/28)

5. 実習生等の受け入れ状況

(1)倉敷中央高等学校 6名

1年生 2名 11/17(金)～11/24(金)土日祝除く5日間

2年生 2名 10/13(月)～11/10(金)土日祝と10月31日(火)を除く13日間

3年生 2名 5/23(火)～6/9(金)土日と5月29日(月)を除く13日間

6. ボランティアの受け入れ状況

天理教(ひのきしん)50名 アーバンホール 1名 爺婆バンド 5名 オアシス 5名

松下様 1名

延人員 62名

7. 広報・啓発活動

- ・ホームページを活用した多様な情報の告知・提供
- ・施設内掲示板への掲示(事業計画、事業報告、決算概要など)
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開
- ・施設案内パンフレットの配付

8. 職員の配置状況(令和6年3月31日現在)

常勤職員 43名(介護士26名、看護師5名、介護支援専門員3名、生活相談員2名
機能訓練指導員1名、管理栄養士2名、事務4名(施設長を含む))

非常勤職員 16名(介護士9名、宿直2、洗濯担当3、用務2)

採用者及び退職者 採用 4名 退職 3名

9. 委員会等の開催状況

(1)感染対策委員会

(2)拘束・虐待委員会

(3)事故対策委員会

(4)食事委員会

(5)ショートステイ担当委員会

(6)入所判定委員会

各々 3ヵ月ごとに開催

半年に1回開催

年2回開催(本年度に関しては書面送付)

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

(1)身体拘束及び虐待予防

(2)感染対策

(3)事故防止

(4)医療・褥瘡

各々 年2回開催

○外部研修への参加状況

- (1) 県外 0回 0名
 (2) 県内 21回 延 14名

研修名	場所	参加職種
要介護認定調査員 新規研修	岡山ふれあいセンター	介護支援専門員
接遇セミナー	きらめきプラザ	介護職員・生活相談員
介護施設における安全対策担当者養成研修	Eラーニング	事務局長
社会保険制度説明会	ライフパーク倉敷	事務職員
算定基礎届事務講習会	玉野市荘内市民センター	事務職員
新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応に関する研修会	オンライン	施設長
同一労働同一賃金&賃金引上げ助成金セミナー	オンライン	事務職員
学卒求人説明会・公正採用選考研修会	コンベックス岡山	施設長
地域包括支援課 重点課題研修(法定外研修)	岡山ふれあいセンター	介護支援専門員
主任ケアマネ委員会オンライン研修	オンライン	介護支援専門員
介護労働者雇用管理責任者研修	早島町ゆるびの舎	施設長
安全運転管理者等法定講習	運転免許センター	介護支援専門員
介護福祉士実務者研修	富山荘	特養 介護職員
通所介護運営 最新情報	オンライン	通所 介護職員
要介護認定調査員 現任研修	岡山ふれあいセンター	介護支援専門員
岡山県介護支援専門員協会 第4回ケアマネージャー大会	さん太ホール	介護支援専門員
ケアマネジメントセミナー	おかやま西川原プラザ	介護支援専門員
デイサービスセンター実践報告会	きらめきプラザ	通所 介護職員
苦情解決研修	きらめきプラザ	生活相談員
障害者雇用納付金制度事務説明会	ポリテクセンター	事務職員
介護事業者のための業務継続計画作成セミナー	オンライン	施設長
ハラスメント研修	藤田荘・玉野山田荘	相談窓口担当者・施設長

- その他 消防・防災(消火、避難)訓練 2回

○灘崎荘 通所介護事業所

1. 利用者の推移

月	介護保険適用通所介護事業(介護予防)				介護保険適用通所介護事業(介護)			
	開所 日数	登 録 者数(名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)	開所 日数	登 録 者数(名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)
4	18	6	46	2.6	25	23	252	10.1
5	20	6	53	2.7	27	23	281	10.4
6	21	6	52	2.5	26	23	285	11.0
7	20	6	50	2.5	26	23	308	11.8
8	20	6	47	2.4	27	23	284	10.5
9	18	5	40	2.2	26	23	268	10.3
10	17	3	35	2.1	26	24	255	9.8
11	15	3	22	1.5	26	23	268	10.3
12	19	5	41	2.2	25	21	241	9.6
1	13	6	42	3.2	24	23	216	9.0
2	16	7	47	2.9	25	20	222	8.9
3	20	6	43	2.2	26	20	251	9.7
計	217	65	518	2.4	309	269	3,131	10.1

令和5年度1年間での新規利用(登録)者数

要支援者 3名 担当居宅名(池田医院1名 アミューズ富永1名 そら1名)

要介護者 5名 担当居宅名(灘崎荘1名 アールケア1名 岡山しげい居宅3名)

令和5年度1年間での利用中止(登録抹消)者数

施設入所 3名 担当居宅名 岡山しげい居宅2名 アールケア1名

死去 1名 担当居宅名 岡山しげい居宅1名

その他(遠方の為近所の通所に移動)1名 担当居宅名 岡山しげい居宅1名

2. 各種行事の実施状況

レクリエーション実施内容

○ 誕生日会	毎月	○ お楽しみの日	7月
○ カレンダー作り	毎月	○ スーパーボールすくい大会	8月
○ 園芸クラブ・寄せ植え	毎月	○ 納涼祭	7月
○ SAYAゲーム	毎月	○ 夏祭り	8月
○ 創作クラブ	毎月	○ みさお牧場	9月
○ ナースの健康教室	毎月	○ 敬老会	9月
○ 足湯	毎月	○ フラワーアレンジメント	毎月
○ クッキングクラブ	毎月	○ ハロウィンパーティー	10月
○ マッサージ	毎月	○ ハロウィンパーティー	10月

○ お茶の日	毎月	○ お飾り作り	12月
○ 喫茶せつ	偶数月	○ 年末交流会(忘年会)	12月
○ いつこCafé	奇数月	○ クリスマスケーキ作り	12月
○ 絵手紙	随時	○ 新年会・初釜	1月
○ アニマルセラピー	毎月	○ とんど	1月
○ 菜園日	随時	○ 書初め	1月
○ 菜園日	随時	○ 節分	2月
○ 運動会	6月・10月	○ チョコレートファウンテン	2月
○ じゃがいも掘り	5月・11月	○ じゃがいも植え	3月・9月
○ じゃがいも収穫祭(調理)	6月・11月		

3. 交流行事の実施状況

11月 なかよし会演芸
11月 ハーモニカ演奏
1月 灘崎中学校箏曲部演奏
1月 灘崎中学校茶道部実演

4. 実習生等の受入状況

介護実習生 倉敷中央高校1年生2名
倉敷中央高校2年生2名

※灘崎中学校職場体験
灘崎中学校2年生3名

5. ボランティアの受け入れ状況

実人員 12名 延 25名
実犬 2匹 延 8匹

6. 職員の配置状況(令和6年3月31日現在)

常勤職員 6名
非常勤職員・パート 3名

7. 職員の研修等の参加状況

○事業所内研修
ポジショニング 食事介助 感染症対策 虐待予防 事故予防他

○事業所外研修
殊遇
ハラスメント

○灘崎荘在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)

令和5年度は常勤職員2人、非常勤1人体制での業務を遂行した。介護ケアプラン、予防ケアプランとも前年度より件数が減少しており来年度は増加出来るよう努力したい。

今後も引き続き包括支援センターや病院MSW、サービス事業所、主治医等との関係を良好に保ち新規紹介に繋げる。

認定調査件数は前年度と大差無く対応出来た。

介護支援業務に関する研修については対面での研修も増加しており、オンラインも活用しながら職員のより一層のスキルアップを図っていく。

1. 介護給付ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	74	71	68	65	64	64	66	66	64	64	64	62	792

2. 予防ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	28	27	28	28	28	26	26	22	22	18	18	19	290

3. 認定調査件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	1	3	1	4	5	2	3	1	3	2	1	1	27

4. 職員の配置状況(令和6年3月31日現在)

常勤職員:2名 非常勤:1名

5. 職員の研修等の参加状況

- (1) 施設外研修 8 回 延 10名
- (2) 事業所内研修・見学等 1 回 延 3 名

(富山荘関係)

《特別養護老人ホーム富山荘》 (平成 17 年 8 月 1 日開設)

令和 5 年度ご入居様の平均介護度は【3.9】平均年齢は【87.9 歳】でした。
(令和 6 年 3 月 31 日時点)

入所者は 19 名、退所者は 21 名 (令和 6 年 3 月 31 日時点)

令和 5 年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行されましたが、富山荘内では 2 回
(令和 5 年 5 月 12 日～5 月 23 日)(令和 6 年 2 月 6 日～27 日)クラスターが発生。

5 月は、ご利用者 5 名の感染。2 月に関しては、ご利用者 12 名・職員 4 名が感染し、長期にわたりました。5 類に移行されたとはいえ、感染力は高く今回も地域交流スペースにて隔離対応を行いました。

面会に関しては、5 類に移行後暫くはユニットへ上がってもらい、居室にて行っていました。インフルエンザや新型コロナウイルスが流行し始めた頃より以前のように地域交流スペースでの面会に切り替えを行っています。ご家族への情報提供としては、家族会にて購入して頂いたタブレットでのラインや写真のやりとりを継続して行っており、看取りのご家族には感染対応して頂き居室での対応を行っています。看取り対応のご家族の中には、宿泊された方もおられ、とても感謝されていました。

職員については特定技能外国人 2 名(中国人 1 名・ベトナム人 1 名)が令和 6 年 3 月末で帰国となりました。現在は、特定技能外国人 2 名(中国人)が在籍。内 1 名は、この度介護福祉士の国家試験に合格することが出来ました。今後は、夜勤業務が実施できるよう指導に入っていく予定です。もう 1 名は、今年度実務者研修の取得に向け申し込みを行い、前年同様今年も富山荘での実務者研修を実施することになりました。

職員の研修については、施設職員による内部研修を毎月実施。また、外部講師による研修も 2～3 ヶ月に 1 回は開催。外部へ出向いての研修も徐々に実施しており、ユニットリーダー研修を受講した職員もおります。

今回の介護福祉士国家試験では、富山荘から 5 名の職員が受験し全員合格することができました。

BCP(事業継続計画)の取組みにも力を入れており、毎月の会議並びに BCP 訓練を行い災害に備え体制を整えています。

地域との交流ではオレンジカフェに参加し、相談コーナーを担当。オレンジカフェに参加された地域の方から相談を受け、アドバイスを行っています。また、地域で富山文化展が開催され今年も入居者様の作品を出展しました。

令和 5 年度も職員の子供さんが企業型ジョウキンダーガーデンを利用し就労されています。

《富山荘短期入所事業》

特養で退所が続き、ショートステイご利用の方が富山荘の特養へ入所されるケースが何件かありました。また、他の特養への入所が決まり、ショートステイのご利用が中止になることもあり一時的に稼働率が低下しました。現在は、相談員が営業を行い新規のご利用者も増えてきてきており、稼働率 80%までは回復してきています。

《富山荘居宅介護支援事業所》

令和 5 年 9 月より休止しておりますが、事業所を再開するためには主任介護支援専門員の配置が必須となります。現在、主任介護支援専門員の採用見込みはたっておりません。

《福祉有償運送 富山荘》

現在の登録数は 88 名（令和 6 年 3 月末時点）、月平均 20 名程の利用があります。買い物や病院受診、支援学校への送迎などに利用されています。

前期（4 月～9 月）の実績は、461,580 円 後期（10 月～3 月）の実績は、528,401 円となっています。以前から、営業時間外や営業日以外の予約を受けており対応する職員の超過勤務が発生していました。職員が個々で予約をとっていたので、営業日と営業時間は守るように運行管理者と話し合いを行い、現在改善に努めています。

○ 特別養護老人ホーム富山荘

1. 特養利用者定員 50名 短期入所定員 10名

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	52	1,503	23	206
5	52	1,605	23	213
6	53	1,514	20	216
7	54	1,574	24	237
8	53	1,528	24	213
9	51	1,526	21	196
10	51	1,554	21	199
11	52	1,476	24	203
12	52	1,554	22	182
1	52	1,573	20	165
2	52	1,473	18	134
3	52	1,496	22	174
計	626	18,376	262	2,338

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和5年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和6年3月31日現在)

入所者 19 名 退所者 21 名

(3)利用者の介護度 平均 3.9

(4)利用者の年齢 最高 102歳 最低 72歳 平均 87.9歳

(5)利用者の男女別数 (男) 13名 (女) 36名 計 49名

3. 主要行事等の実施状況

4月	お花見
5月	お茶会
6月	綿菓子
7月	かき氷
8月	スイカ割 ・ そうめん流し
9月	敬老会
10月	保育園児とハロウィン ・ 焼き芋会
11月	紅葉ドライブ ・ おでんパーティー
12月	クリスマス会 餅つき (保育園児と)
1月	お茶会 ・ 初詣
2月	節分 ・ 豆まき
3月	ひな祭 ・ お茶会

※上記以外に誕生日会を随時開催 毎月リハビリクッキング開催・不定期喫茶

4. 地域・その他との交流の状況

認知症オレンジカフェ

東区地域ケア連携会議・支え合い推進会議

富山学区文化展

5. 実習生等の受け入れ状況

①ノートルダム清心大学 管理栄養士実習 4名

②介護体験実習 7名

6. ボランティアの受け入れ状況

実人員 1名 リハビリクッキング等ユニット行事に参加

延人員 1名

7. 広報・啓発活動

- ・ホームページ開設。イベント情報や職員求人等掲載。
- ・施設内での掲示(事業計画、事業報告、決算概要など)
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開
- ・年4回広報誌作成
- ・施設案内パンフレットの配付

8. 職員の配置状況(令和6年3月31日現在)

常勤職員 32名(介護士22名、看護師3名、介護支援専門員1名、生活相談員2名
機能訓練指導員1名、管理栄養士1名、事務2名(施設長を含む))

非常勤職員 17名(介護士8名、補助員2名、宿直2、洗濯担当2、清掃2、事務員1)

採用者及び退職者 採用 7名 退職 11名

9. 委員会等の開催状況

- (1)事故検討委員会・身体拘束委員会・虐待防止委員会
- (2)感染予防委員会(新型コロナウイルス感染予防委員会)・入浴委員会
- (3)給食委員会・行事広報委員会・排泄委員会・褥瘡対策委員会
- (4)ショートステイ担当委員会 2ヵ月ごとに開催
- (5)入所判定委員会 3ヵ月1回開催(本年度に関しては第3者委員には書面送)

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

- (1)身体拘束及び虐待予防
- (2)感染対策及び褥瘡予防
- (3)事故防止
- (4)BCP訓練研修
- (5)2・3ヶ月ごとに外部講師研修(記録の仕方・ケア現場での気づき)(介護職員のための接遇マナー)
(アンガーマネジメント研修) 実務者研修(3名) 喀痰吸引実地研修(3名)
光洋(株)おむつの研修 ・ 看取り研修 ・ AED研修

○外部研修への参加状況

- (1) 県外 1回 1名
 (2) 県内 17回 延 21名

研修名	場所	参加職員
要介護認定員新規研修	岡山ふれあいセンター	介護支援専門員
職長・安全衛生責任者教育	第一セントラルビル	副施設長
岡山県老人福祉施設協議会	きらめきプラザ	施設長
岡山市居宅介護支援事業所連絡会議	岡山ふれあいセンター	施設長
介護事業所の助成制度補助金活用について	西ふれあいセンター	施設長
介護施設における安全対策担当者養成研修	富山荘 Eラーニング	介護職員 3名
第2回認知症介護実践研修(実践者研修)	きらめきプラザ	介護職員
イマドキの若者の就職活動とは	富山荘 WEBライブ	副施設長
防火・防災管理新規講習	商工会議所	介護課長
ユニットリーダー研修	富山荘 Eラーニング	介護職員(UL)
令和5年度介護職若葉マーク応援講習	ゆるびの舎	介護職員
外国人介護職のための基礎研修	きらめきプラザ	介護職員3名
介護支援専門員更新研修	きらめきプラザ・オンライン	介護支援専門員
介護労働者雇用管理責任者講習	介護労働安定センター	施設長
光洋オムツマイスター養成研修(2ヵ月1回)	富山荘・玉野山田荘	介護職員(UL)2名
ユニットリーダー研修	特別養護老人ホーム高秀苑(大阪)	介護職員(UL)

- その他 消防・防災・災害(消火、避難)訓練 2回

○ 富山荘在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)

1. 介護給付ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	12	11	11	11	10								55

2. 予防ケアプランの作成件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	21	21	20	20	20								102

3. 認定調査件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	0	0	0	0	0								0

4. 職員の配置状況(令和5年8月31日以降休止扱い)

常勤職員 2名

5. 職員の研修等の参加状況

(1) 施設外研修 0回 延 0名

研 修 内 容	場 所
認定調査現任研修	
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント研修	
パワハラ・虐待	
居宅介護支援連絡会議	

(2) 事業所内研修 3回

(藤田荘関係)

《特別養護老人ホーム藤田荘》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

前年度以来の懸念事項であった電気代の高騰も、8 月からソーラーパネルが稼働したことにより現時点ではほぼ解消しました。今年度は退去者が例年の 1.5 倍と多く、稼働率は前年度の 98% に比べて過去最低の 93.9% と大幅に下がりました。また、今年度は岡山県老人福祉施設協議会の地域密着部会一員として、県内の地域密着特養との情報交換等にも携わることができ、自施設だけではなく広い視野で高齢者福祉を考えることができました。

《藤田荘短期入所生活介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

昨年度の利用率 57.8% に比較すると今年度は 56.0% とやや下がりました。これは、12 月の特養のコロナクラスター発生を受けて、ショートステイを 1 か月間閉鎖したことが大きく影響しております。ただし、大きな流れとしては、居宅介護支援事業所(ケアマネ)からの、新規の利用問い合わせが継続してありました。

《藤田荘認知症対応型通所介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

職員が特技や趣味を生かして積極的に行事を行いました。利用者数は昨年度に比べて延べ 180 人増加しましたが、ただし、今年度は要支援の方の利用はゼロでした。毎月 1 回の大曲地区での「買い物支援」や「南区西福祉事務所支え合い会議」、「北児島ネット運営委員会」への参加も継続しております。

《藤田荘小規模多機能型居宅介護事業所》（平成 19 年 10 月 1 日開設）

今年度は、利用者登録者数が平均で 20 名以上をキープすることができ(最高 24 名)、好成績だったと思います。岡山県小規模多機能型居宅介護連絡会にも加入し、他事業所との交流も持てました。また、3 月には「外部評価」を運営推進会議メンバーによって実施し、おおむね良好な評価を頂いております。

1,定 員 特別養護老人ホーム 29名, 短期入所 5名

2,入居者(利用者)の状況

(1)利用者数及び延利用者数

月別	特別養護老人ホーム(特例1床を含み30床で計算)		ショートステイ(特例1床を減じ満床4床で計算)	
	利用者実数平均(1日/人)	延利用者日数(人)	利用者実数平均(1日/人)	延利用者日数(人)
4月	28.6	859	2.1	63
5月	30.0	930	2.5	79
6月	29.5	885	2.6	78
7月	27.9	867	2.4	76
8月	28.6	888	2.0	65
9月	28.7	861	2.4	73
10月	28.0	871	2.5	79
11月	27.0	811	2.9	88
12月	27.4	850	2.6	81
1月	27.7	861	1.6	52
2月	27.5	800	1.7	51
3月	26.7	829	2.4	75
計	平均 28.1	10,312	平均 2.2	860
※昨年度10,734人より422人減。(稼働率93.9%)			※昨年比、年間822人より延べ利用者数38人増。(稼働率58.7%)	

- (2)利用者の介護度 平均 3.7 (昨年度3.7)
- (3)利用者の年齢 高 103歳 低 71歳 平均 89.4 歳 (昨年度89歳)
- (4)利用者の男女別数 (男)7 名 (女)22 名 計 29名
- (5)入退居の状況 退居者 10名 (うち1名は在宅復帰) 新入居者 9 名
- (6)待機者の状況 45 名 ※(年度末時点での数値)

3、各種主要行事等の実施状況

毎月の行事	リハビリクッキング	おやつ作りを入居者参加型で各ユニットで延べ33回実施
	誕生日会	延べ24回開催
4月	お花見ドライブ、自宅外出、施設内不在者投票	
5月	ゲーム大会、魚釣りゲーム、ドライブ、鯉のぼり作り、散歩	
6月	後楽弁当、入居者健康診断	
7月	七夕会、100歳お祝い、	
8月	夏祭り(2日間、屋台、ゲーム)	
9月	敬老会(2日間、ミニ式典、寿年齢の方14名)	
10月	歯科検診訪問指導事業	
11月	秋祭り(お祝い御膳、お神輿、ゲーム大会)、100歳お祝い、自宅外出、防災避難訓練(灘崎荘まで避難)	
12月	クリスマスツリー作り、クリスマス会(2日間)、第1回消防・防災訓練	
1月	初詣(藤田神社)、新年会(握り寿司、お楽しみ会)	
2月	節分巻きずし作り、第2回消防・防災訓練	
3月	ひな祭り、ミニお花見会(2回)、100歳お祝い、第2回目消防・防災訓練	

4、地域交流他の状況

4月～5月	地域の方の撮影した「鉄道写真」展示
4月～11月	社団法人MOAによる、生け花+花瓶の提供、施設内に展示(延べ4回)
6月～2月	岡山県老人福祉施設協議会の会合等に参加(延べ9回)
7月～2月	「都六区おでかけサポート」に公用車貸出(延べ8回)
11月26日	藤田大曲地区防災訓練に参加
12月4日	地域ケア連絡会議・支え合い推進会議への参加
2月～4月	倉敷市自然史博物館より「盗難アジアの蝶の標本」借用、施設内に展示。

5、求人活動等

玉野ハローワーク面接会	3回参加	夏の学校訪問	/3～13まで、県南部の高等学校10校訪問
介護就職デー等	2回参加		

6、職員の配置現況（短期入所含む）

※(年度末時点での集計)

介護職員	常勤16名、非常勤8名 常勤換算18.9人(※職員1名に対して利用者1.79人の配置) ※昨年度常勤換算20.3人(うち介護福祉士10名)	24名
看護職員	常勤2名	2名
施設長・生活相談員(介護支援専門員)・機能訓練指導員・管理栄養士・事務員・理学療法士・医師	各職種常勤5名(医師1名は非常勤)	7名
計		33名

※ 年度内採用・退職・異動の状況

		介護職員	機能訓練員	管理栄養士	小計
採用	正職員	2名	1名	1名	4名
	準職員	2名	0	0	2名
退職	正職員	3名(うち1名はケアマネ兼務)			3名
	準職員	3名			3名
異動	正職員	1名			富山荘へ
		1名			小多機へ
		1名			小多機から

※ 上記採用者6名のうち、紹介会社からの採用者数(2名)

7、委員会等の開催状況（年 間）

運営推進委員会(5・7・9・11・1・3月)	6回開催	苦情処理委員会	第三者委員会1回開催(書面)
栄養サポート委員会	12回開催	事故防止委員会	10回開催(うち施設内研修1回)
ユニット内栄養サポート委員会	7回開催	入所判定委員会	第三者委員会1回(書面)、調整会議9回
行事委員会	10回開催	身体拘束廃止委員会	3回開催(うち施設内研修1回)
虐待防止委員会	3回開催	感染・褥瘡予防委員会	19回開催(うち施設内研修15回)

8、外部研修の実施状況（施設外での研修）

職 種	研修内容（研修名、キーワード記載）	受講人数
介護職員、事務職、ケアマネ、相談員、栄養士等	福祉人材確保・定着セミナー、甲種防火管理者研修、認定調査員研修、「介護支援専門員更新研修」(延べ9日)、「認知症の人との関わり方」、「雇用管理責任者研修」(2日間)、「緊急時、事故対応」(2名)、「生活機能の維持につながるレクリエーション」、「高齢者施設における虐待予防」、「コーチング研修」(2名)、「リスクマネジメント基礎編」、「口腔ケア」、「カスタマーズハラスメント対策」、「認知症の方のための食事」、「高齢者の体調不良の訴への対応」、介護職員初任者研修(14日間)、「社会保険制度説明」、「介護の入門的研修」(5日間)、「家族へのクレーム対応」、「観察と記録・情報収集の視点」、「ガッテン流食べたい、痩せたい」、「ビジネスマナー研修」	延べ23人

9、施設内研修の実施状況（外部講師による施設内での研修）

5/24	人権研修	「職場の中の人権」	介護職員等9名参加、講師 岡山市人権推進課
8/30	キャリアアップ研修	「虐待防止のための体制整備」	介護職員等8名参加、講師 グループホーム協会
9/30	キャリアアップ研修	「介護記録の仕方」	介護職員等8名参加、講師 介護福祉士会
10/4	キャリアアップ研修	「コミュニケーション技術の向上」	介護職員等9名参加、講師 介護労働安定センター
10/17	安全運転研修	「事業所での安全運転活動」	運転業務に関わる4名参加(Zoom)
11/16	キャリアアップ研修	「生活習慣病と介護の関係」	介護職員等5名参加、講師 川崎医療短期大学
12/6	キャリアアップ研修	「高齢者虐待における基礎知識と権利擁護」	介護職員等7名参加、講師 社会福祉士会
2/8	キャリアアップ研修	「介護に活かせるACPについて」	介護職員等6名参加、講師 旭川荘厚生専門学院

10.その他の事項

・6月16日から建物屋根にソーラーパネル130枚の設置。稼働は8月4日から。(電気代は約半減しました)	
・広報誌「岡山県社会福祉」秋号に藤田荘職員(理学療法士)が「福祉の仕事人」として紹介される。	
・1/15～1/20、2/1～2/18の間、ショートユニット関連内でコロナ感染発生。	
・3/11～14日能登半島地震の災害ボランティアにDMATの一員として職員1名(理学療法士)参加。	

1、定 員 12名

2、利用者の状況

(1)利用者数及び延べ利用者数

月別	介護予防通所介護事業		介護保険通所介護		一日平均利用者数 (人)
	実利用者数	延利用日数(人)	実利用者数	延利用日数(人)	
4	0	0	20	259	10.3
5	0	0	19	289	10.7
6	0	0	25	271	10.4
7	0	0	21	273	10.5
8	0	0	21	272	10.0
9	0	0	20	263	10.1
10	0	0	18	250	9.6
11	0	0	20	260	10.0
12	0	0	21	270	10.8
1	0	0	19	226	9.4
2	0	0	17	249	9.9
3	0	0	16	223	8.5
小計	0	0	237	3105	10.0

(※昨年と比較して134人減)

(※昨年と比較して314人増)

(2)利用者の介護度 平均 2.63

(3)利用者の年齢 最高 93 歳 最低 64 歳 平均 84.8 歳

(4)利用者の男女別数 (男) 4 名 (女) 12 名 計 16名 ※(年度末時点での数値)

3、各種主要行事等の実施状況

月 別	行 事	内 容
毎月	誕生日会	手作りケーキとお手製プレゼント
4月	お花見他	丙川遊歩道、藤田神社参拝
7月	七夕会	七夕飾り作り、ペープサート(彦星と織姫の話)、カリンバ演奏
8月	夏祭り	ウクレレ演奏と歌のショー、浴衣美人コンテスト
9月	敬老会	銭太鼓、手品、フラダンスショー
10月	運動会	玉入れ、パン食い競争
	新嘗祭	新穀に感謝して藤田神社に参拝
11月	秋祭り	お神輿行列
12月	お飾り作り	大曲老人クラブボランティア協力
	クリスマス会	ゲーム、手品、ウクレレ弾き語り
1月	初 詣	藤田神社
2月	節分祭	鬼退治ゲーム、恵方巻作り
3月	ひな祭り	ひな壇飾りゲーム、ペープサート(流し雛のお話)

4、地域交流他の状況

定例	毎月1回、藤田大曲地区の高齢者の買い物支援を行っている。
10月	大曲道通神社祭礼に参加
11月	大曲地区防災訓練に参加
12月	藤田大曲児童館「ちびっこクラブクリスマス会」出張サンタに参加
12月・2月	南区西福祉地区支え合い推進会議に参加
7月・11月・2月	北児島ケアネット運営委員会に参加

5、ボランティアの受け入れ

コロナ感染予防のためなし。

6、職員の配置現況

※(年度末時点)

管理者	常勤、生活相談員・介護士兼務	1
介護職員	非常勤8名(常勤換算3.9名、うち1名は生活相談員兼務、介護福祉士2名)	8
機能訓練指導員	非常勤1名(あんまマッサージ師)	1
計		10名

※ 年度内採用・退職の状況

	雇用形態	介護職員	小計
採用	介護職	3名(うち2名は準職員)	3
異動	〃	小規模多機能へ 1名(正職員)	1
応援	〃	小規模多機能から 1名(2か月間)	1
退職	〃	2名(準職員)	2

7、職員外部研修の実施状況 (施設外での研修)

職 種	研 修 内 容	受講人数
介護職員等 (キーワード)	「食事療法と栄養評価」、「認知症の人との関わり方」、「実践の回想法」、「令和6年度制度改正」、「メディカルケアステーション(MCS)説明会」、「アンガーマネジメント」、「多職種連携強化」、「介護報酬改定のポイント」、「自宅で安全に生活するためのコツ」	延べ11人

令和5年度 藤田荘小規模多機能型居宅介護事業所

作成 小規模管理者

登録人数 25名 通い定員15名 訪問(随時) 宿泊定員5名(+緊急時3名)

1. 利用者の状況

(1)利用者数及び延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
登録者数	17	17	18	20	21	21	23	22	24	22	21	22	248	20
利用者介護度	2.7	2.6	2.3	2.3	2.3	2.4	2.3	2.5	2.5	2.3	2.2	2.2	28.6	2.4
通いサービス利用者	233	226	224	267	219	266	316	299	320	300	284	288	3242	270
訪問サービス利用者	178	156	193	154	126	89	158	131	120	107	92	95	1599	133
宿泊サービス利用者	71	75	64	92	65	99	104	95	113	122	107	117	1124	93
前年度比 ⇒ 登録者数・・・17→20、介護度・・・2.1→2.4 通い・・・246→270、訪問・・・199→133、宿泊・・・93→93														

(2) 利用者の介護度 平均 2.0

(3) 利用者の年齢 最高 98歳 最低 69歳 平均 83歳

(4) 利用者の男女別数 (男) 3名 (女) 19名 ※年度末時点での数値

2. 職員の配置状況

常 勤		管理者1名(介護支援専門員・看護職員兼務)、介護支援専門員1名(介護士兼務)、介護職員6名(うち介護福祉士4名、うち1名は育児短時間勤務中))	12名 (常勤換算 9.95名)
非常勤		介護勤職員4名 (うち介護福祉士2名)、常勤換算2.45名	
採 用		介護職員(正職員)	1名
退 職		介護職員(正職員)	2名
異動・応援	受	デイから2名、特養から1名(いずれも介護職員)	3名
	出	デイへ1名特養へ1名(いずれも介護職員)	2名

3. 各種行事の実施状況

行事企画	実施月	実施日	行 事 内 容
お花見	4月	3日	深山公園へお花見・深山カフェでランチ・記念撮影
5月誕生日会	5月	10日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
メイクの日		19日	メイクセラピー・記念撮影
客前料理	6月	15日	お好み焼きを食す・記念撮影
七夕まつり	7月	14日	短冊に願いを書いて頂き笹かざり作り。七夕ゼリー作り。
7月誕生日会		24日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
夏祭り	8月	18日	屋台をイメージしてゲームの実施/盆踊り
9月誕生日会	9月	5日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
敬老会		16日	敬老祝い・敬老御膳を食す・記念撮影・紙芝居
絵手紙をつくる	10月	20日	ぶどうを題材に作成
10月誕生日会		21日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影

菊花展へ	11月	1日	地域回転寿司でランチ後、鳥城公園へ・記念撮影
おかやまマラソン応援		12日	30号線沿道へ・記念撮影
11月誕生日会		14日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
12月誕生日会	12月	14日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
クリスマス会		22日	クリスマスケーキ・職員k手品・ハンドベル・紙芝居・プレゼント・記念撮影
正月を祝う	1月	1～2日	新年のあいさつ・おせち料理・福笑い・書初め・かるた遊び・記念撮影
新年会		10日	握り寿司を食す・記念撮影
初詣		13日	甘酒を頂き、藤田神社へ参拝する。
1月誕生日会		15日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
節分	2月	3日	巻きずし作り・紙芝居・豆まき・記念撮影
2月の誕生日会		14日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影
ひな祭り	3月	1日	ひなあられ、ひな祭りの由来・歌・ゲーム、お内裏・お雛様になり記念撮影
3月の誕生日会		27日	ケーキ作り誕生日会・バースデイカード・プレゼント・歌・記念撮影

4・職員研修実施報告(外部/施設内)

5月	褥瘡予防に関する研修(施設内)	10月	コミュニケーション技術の向上(施設内) 安全運転管理者オンライン講習(施設内)
6月	食中毒予防について(施設内) 介護職スキルアップ研修(施設外)	11月	感染症予防対策研修会(動画、オンライン)
7月	介護職スキルアップ研修(施設外)	12月	高齢者虐待における基礎知識と権利擁護(施設内)
8月	施設における高齢者虐待防止のための体制整備 研修(施設内)	2月	介護に活かせるアドバンスケアプランニング(施設内)
9月	記録の仕方(施設内) 介護職スキルアップ研修(施設外)		

5. 地域交流等の状況

4月	藤田「遠藤ぼたん園」へボタンの花の観賞に行く。
11月	大曲地区地域防災訓練に参加
3月	藤田公民館文化祭に参加

6.その他の事項

（玉野山田荘関係）

《特別養護老人ホーム玉野山田荘》（平成 26 年 8 月 1 日開設）

令和 5 年度の入退居の状況は、新入居者 23 名（前年度 25 名）で、その内訳は医療機関が 11 名、老健等からの施設から入居が 4 名、在宅 8 名でした。一方、退居者 18 名（前年度 26 名）でした。年度末における平均介護度は 3.86（前年度 4.06）平均年齢は 88 歳（前年度 88.6 歳）と前年度と比較すると、少し軽度化しています。入居率平均 97.9%、総利用者数 21,105 名＋空床ショート利用者 48 名（前年度 20,851 名）254 名増員しています。

職員の入退職の状況は、退職者 10 名：内訳ですが、常勤 3 名（介護職員 2 名・看護職員 1 名）、時間給職員 7 名（介護職員 4 名・軽作業職員 3 名）前年度は退職者 6 名（常勤 1 名、時間給職員 5 名）でした。入職者 4 名：内訳ですが、正職員 1 名（介護職員）、時間給職員 3 名（介護職員 1 名・軽作業職員 2 名）を採用し、今現在、働かれている職員を大切に、職員同士が会話し易い環境（定期・随時での職員面談を密にして不安要素の排除）作りに努めています。

施設内の教育体制については、資格修得に努め、介護福祉士 1 名の合格・喀痰吸引資格 2 名、習得致しました。又、災害に対する対策：地域との災害協力連携を考え、白石地域自主防災会へ参加及び避難訓練（火災・地震・津波災害に備え卓上にて演習含む）を年 2 回実施（事業継続計画：BCP の対応）、感染症対策（事業継続計画：BCP の対応）の研修年 2 回、身体拘束（虐待防止含む）の研修年 2 回、事故防止（医療的ケア含む）の研修年 2 回、看取りケアの研修年 1 回の委員会活動に準じた内部の研修を実施、専門的な知識を補うために、施設内での外部講師研修（旭川荘厚生学院・社会福祉士会・介護福祉士会・グループホーム協会等）を 8 回招いた他、外部の研修も個別に取入れて行きましたが、さらなる学習や周知が必要と感じています。又、地域交流とし、春・秋の町内清掃の参加、夏祭り参加、胸上八幡宮の宮司より、健康祈願祭をパブリックスペースで開催する事が出来ました。

尚、空床を迅速に入居移行する事ができ難かった状況ではあったのですが、生活相談員と共に社協や居宅事業所、病院等の地域連携室への営業活動を今年度は、密に行いつつ、自治会等に出向き、玉野山田荘の施設概要等の説明や施設見学への取組を行います。

《玉野山田荘短期入所事業》（平成 26 年 8 月 1 日開設）

令和 3 年 11 月 1 日より、特養の空床型ショートを開いています。空床型ショートなので、特養入居者で入院期間が長期になる場合等に活用を計画致しますが、令和 5 年度は 2 名（48 日間）の方が利用致しました。本年度も昨年同様、利用可能な状況時には、迅速な対応を行います。

○ 特別養護老人ホーム玉野山田荘

1. 特養入居者定員 60 名 短期入所定員 10 名

2. 入居者（利用者）の状況

(1) 入居者数及び延入居（利用）日数

	入 居 部 門		短 期 入 所 部 門	
月別	入居者数(名)	延入居日数(日)	利用者数(名)	延利用日数(日)
4	58 名	1,678	0	0
5	59 名	1,748	0	0
6	59 名	1,755	0	0
7	60 名	1,825	0	0
8	58 名	1,750	1	24
9	58 名	1,723	1	6
10	59 名	1,765	0	0
11	60 名	1,766	0	0
12	59 名	1,812	1	18
1	60 名	1,806	0	0
2	59 名	1,698	0	0
3	59 名	1,779	0	0
合計	708 名	21,105	3	48

(2) 令和 5 年度入居者及び退居者（短期入所除く）（以下、令和 6 年 3 月 31 日現在）

入居者 23 名 (在宅 8 名/医療機関 11 名/施設 4 名)	退居者 22 名(逝去 18 名/医療機関 3 名/ 在宅 0 名/老健 0 名/特養 1 名)
---------------------------------------	---

(3) 入居者の介護度

平均介護度 3.86 (5= 14 名、4= 23 名、3= 17 名、2= 5 名)

(4) 入居者の年齢

最高齢 106 歳 (1 名) 女性	最年少 70 歳 (1 名) 男性	平均 88 歳
--------------------	-------------------	---------

(5) 入居者の男女別

男性 16 名	女性 43 名	計 59 名
---------	---------	--------

3. 5 年度 行事等の実施状況 4. 地域ボランティア受入れも含む

内容	時期	場所	ユニット
お花見会 ピザパーティ	4 月	屋外 ユニットホール	全 入居者 1F 入居者
お茶会	5 月	地域交流	全 入居者
おやつ作り (あんみつ)	6 月	ユニットホール	2F 入居者
そうめん流し	7 月	屋外	全 入居者
夏祭り	8 月	セミパブリック	全 入居者
花火 夕食づくり (うどん) おやつ作り	10 月	屋外 ユニットホール ユニットホール	全 入居者 2F 入居者 全入居者

ドライブ遠足 買い物 芋煮会	11 月	屋外 屋外 セミパブリック	2F 入居者 2F 入居者 全 入居者
バイキング クリスマス会	12 月	ユニットホール ユニットホール	2F 入居者 全 入居者
正月行事 健康祈願祭 夕食づくり	1 月	セミパブリック セミパブリック ユニットホール	全 入居者 全 入居者 2F 入居者
お花見ドライブ	3 月	屋外	全 入居者

地域交流等

白石地域班長会	4 / 1 6
白石地域自主防災会 防災委員会	4 / 2 3
白石自治会 総会	5 / 7
春の地区内清掃	6 / 1 1
山田地区 夏祭り	8 / 1 3
白石自治会 班長会	9 / 1 0
秋の地区内清掃	1 0 / 8

5. 実習生等の受け入れ状況

無し

6. 広報・啓発活動

随時	施設見学受け入れ、パンフレット配布、
----	--------------------

7. 職員の配置状況

(1) 職種及び配置状況

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

事務 (管理者含む)	看護職員	生活相談員	管理栄養士	機能訓練員
2.3 名	4 名	1.3 名	1 名	1 名
介護支援専門員	介護職員	介護短時間職員	洗濯・掃除・シート交換	管理当直
1.5 名	20.9 名	6 名	5 名	2 名

(2) 全体数と平均年齢

職員全体数	計 45 名（男性 11 名 女性 34 名）（介護職員＝男性 4 名 女性 22 名）	
平均年齢	全体＝ 50 歳	（介護職員平均＝46 歳）

(3) 令和 5 年度の採用者及び退職者

採用者数 6 名（短期含む）	退職者 6 名（正職員 1 名 時間給職員 5 名）
----------------	----------------------------

8. 職員研修等の参加状況（施設内の研修）

感染対策及び褥瘡予防	（定期開催）
身体拘束及び虐待防止	（定期開催）
事故防止及び医療的ケア	（定期開催）
看取り	（定期開催）

9. 職員研修等の参加状況

（施設内外部者研修）

感染症の理解と対応	旭川荘厚生専門学院	全職員対象
セーフティマネジメント	岡山県介護福祉士会	全職員対象
身体拘束廃止について	岡山県社会福祉士会	全職員対象
接遇マナーについて	介護労働センター	全職員対象
看取りについて	グループホーム協会	全職員対象
認知症について	あけぼのクリニック	全職員対象
口腔ケア研修	プライムケア岡山	全職員対象
心肺蘇生法（AED 含む）	玉野市消防本部	全職員対象

（施設外の研修）

介護施設における安全対策担当者研修	オンライン	介護職員
これからの車椅子ケア	オンライン	機能訓練指導員
皮膚疾患とスキン・フットケアの対応	ウェルポートなださき	介護職員
薬の基礎知識	西大寺ふれあいセンター	介護職員
セミナー研修	西ッ原プラザ本館	介護支援専門員
音楽療法と認知症ケア	南ふれあいセンター	介護職員
緊急時・事故対応	西大寺ふれあいセンター	介護職員
介護職員若葉マーク応援講習 3 回	ゆるびの舎	介護職員
観察と記録	岡山市ふれあい公社	介護職員
介護職の為の看取りケア	南ふれあいセンター	介護職員
不調の訴えに対応（観察眼）	岡山市ふれあい公社	介護職員
認知症の為の食事づくり	ウェルポートなださき	介護職員
感染症の予防と対応	西大寺ふれあいセンター	介護職員
技能実習指導員講習	きらめきプラザ	生活相談員
喀痰吸引等指導者研修	看護会館	看護師

給食施設管理者研修	オンライン	管理栄養士
虐待を防ぐ予防対応	南ふれあいセンター	介護職員
緊急時・事故対応	ふれあいセンター	介護職員
アセスメントと目標設定の視点	北ふれあいセンター	介護支援専門員
リスクマネジメント	岡山ふれあいセンター	介護職員
災害リハビリテーション	オンライン	機能訓練指導員
安全衛生推進者養成講習	安全衛生会館	事務職員
備前地区栄養士研修会	特養健老園	管理栄養士
喀痰吸引実地研修	特養富山荘	介護職員

（宮浦荘関係）

《特別養護老人ホーム宮浦荘》（平成 31 年 4 月 1 日開設）

令和 5 年度のご利用者の平均介護度は 3.9（前年度 4.0）、平均年齢は 88.3 歳（前年度 89.1 歳）でした（ともに令和 5 年 3 月 31 日時点）。また、令和 5 年度中の入退居者は、入居者 8 名（前年度 8 名）、退居者 7 名（同 7 名）となりました。平均介護度は下がっておりますが、今年度も認知症の症状が重い方が増えている傾向となっております。上半期の入居率平均 97.5%、下半期は 96.7%と急な退居者（入院後に退居）が特に下半期に多く、長期入院者、待機者にも声をかけたが、入居希望がなく空床が続いたため稼働率としては目標値を下回りました。十分な営業ができなくなったため待機者が減り、退居者が出た際にスムーズな入居を行うことができませんでした。

施設内の教育体制として、感染症対策・褥瘡防止、事故防止、身体拘束・虐待防止の内部・外部研修を年 2 回委員会活動に準じて実施し、職員の専門的な知識を補っています。今年度は介護職員実務者研修に関しては、1 名の職員が受験し同年に介護福祉士資格も取得することができました。

令和 5 年度には特に感染対策や接遇、事故防止、排泄面など、職員の知識や意識、技術面が不足している研修を積極的に取り入れていくように計画を組みました。内部研修では、各委員会の委員を中心に研修を考え、その他の職員にも行いました。また、外部講師を招き排泄面や感染対策等の研修も行いました。

また、新型コロナも 5 類に分類されましたが、施設内では、職員・入居者ともに 5 年度にコロナ感染し対応に追われることもありましたが、半面、感染症発症時の初期対応や防護服の着脱等も含め感染症発生時の対策について改めて学ぶこともできました。

しかし、依然として感染力や重症化のリスクには変わりはなく今年度も活動が制限されてしまい、地域の方々や子ども会との交流も思うようにはできませんでした。その中で、9 月に町内の高嶋神社祭り開催時には、獅子舞が施設に来荘し玄関先ではありますが、入居者の方々の前で舞を披露してくださり記念写真を一緒に撮ることができました。入居者の方々も久しぶりの「獅子舞」に驚きや感動されたようで、短時間ではありますが楽しめた様子でした。今後も地域運営推進会議等にて施設の状況を公表し地域の方々の意見も取り入れながら、地域に根差した開かれた施設運営を実施していきます。

令和 6 年度には、稼働率についても待機者の獲得を第 1 に考え、近隣の居宅介護支援事業所や病院ソーシャルワーカーとの情報のやりとりを密にするとともに、現在交流のない南区・中区・東区の病院や居宅介護支援事業所へ新たな営業も増やし待機者・利用率の向上を図ります。また、待機者を確保した上で入退居をスムーズに行えるように、事前の入居意思の確認や入居調整の速さも考え実施していきます。

人員確保の面では、紹介会社を通して職員を採用。また、派遣職員を活用し人員確保に努めてきました。紹介会社から話があっても、採用にまで至らないケースが多い状況でしたが、今年度は 2 名の職員を採用することができました。また、令和 5 年 11 月より、特定技能職員 2 名を雇用。（令和 6 年 2 月中旬まで富山荘にて研修）日本語力もあり、職員・入居者とのコミュニケーションも良好。業務に関しても、丁寧で物覚えもよ

く理解が早いため職員からも好印象です。早い段階で業務を覚えてもらい独り立ちできるように指導していきます。退職者に関しては、0名でした。令和6年度も、職員獲得のため就職フェア等への参加、ハローワーク・紹介会社を通じた求人や新卒職員採用にて学校訪問も含め再度検討していく予定です。

《宮浦荘短期入所事業所》（令和2年1月1日開設）

令和3年3月31日に人員不足のために休止をしましたが、その後も人員確保が難しく、当初予定していた8月はおろか年度内の再開をすることもできませんでした。

令和5年度は人員的にも不足していましたが、令和6年度には特定技能職員も含め人員も増えてくる予定です。今後も、人員確保が見込めているため早期の段階で短期入所再開を目指します。

また、再開するまでの間に、令和5年度には特養の空床時にその部屋を短期入所としてご利用していただけるような変更届を提出しました。実際のご利用はありませんでしたが、急なご利用希望があれば「特養空床利用」という形で対応していくようにしていました。

《宮浦荘通所介護事業所》（平成31年4月1日開設）

令和5年度は上半期利用率：58.0%（介護・予防併せて）、下半期利用率：64.3%（同）でした。昨年は、上半期：51.25%、下半期：55.44%でした。

利用者一人ひとりに対する手厚いサービスを基本として行うことで、ご家族様・居宅事業所から信頼を得ることができたおかげか、継続利用・新規利用紹介をいただくことができ稼働率も年間を通してUPしました。また、更なる稼働率UPのため、各居宅支援事業者やご家族との関係性構築を目指し、サービス内容では「利用者が何を期待しているか」を職員全員で考え様々な事に取り組みました。その結果、稼働率UPに繋げることができ居宅介護支援事業所より多くの新規利用者を紹介していただき、ある居宅からは「新規で通所介護の利用を検討する際には宮浦荘を。」とまで言っていただくことができました。今後も、現状で満足ではなく、より良いサービス提供を目指していきます。

コロナ禍にあっては、ご家族・居宅支援事業所・他サービス事業所と密な連携をとり、感染リスクとなる情報を早期に得るとともに、簡易抗原検査を用いるなどして本人やご家族の不安を和らげながらご利用いただきました。

12月20日には、通所利用者様も参加し火災・水害訓練を実施し万が一の事態に備えました。

通所サービスにおける地域との関わりについては、地域の公民館行事等（文化祭等）にも参加しました。カラオケ大会や催し物、文化展の作品を観られたりと皆さん楽しまれた様子でした。令和6年度も同様に参加し、カラオケ大会参加や、文化展に手作りの作品を展示させていただくように考えています。

利用者獲得の営業活動についても、コロナ感染の状況も見ながら営業範囲を広げて新規利用者の獲得を図ります。事業計画にも挙げたように、短期入所再開までは特養は当

然の事、通所介護も稼働率を上げ施設全体での収益 UP に繋げていくよう考えています。

《ささえあいサロン宮ノ浦》

令和 4 年 10 月よりコロナ禍にて休止していたももたろう体操を再開しました。毎週土曜日に実施しており 1 回に 10 名程度の方が参加されています。その際には、通所介護事業において、現在利用の少ない宮浦地区の方への声掛けを行い、利用に繋げようと考えています。また、社会福祉協議会の方や包括支援センターの方々による高齢者向けの出張講座等も定期的に開催しています。

さらに、令和 4 年 12 月から開始した、月 1 回宮浦地区の高齢者を対象とした、買い物送迎支援（1 回に 2～5 名程度利用）も、独りでは買い物に行けない方には好評ですが、その時々で人数にバラつきがあります。まだ、地域内でも知られていない可能性もあるため、地域内の担当者との連携を密にして利用者を増やしていければと考えています。このサービスを通して地域の高齢者の方々に少しでも外出する機会を持っていただき、困り事があれば何でも相談していただける関係を築き地域に根ざした施設を目指すようにしていきます。

○ 特別養護老人ホーム宮浦荘

1. 特養利用者定員 29名 短期入所定員 10名(休止中)

2. 利用者(入所者)の状況

(1)利用者数及び延利用者日数

月	入 所 部 門		短 期 入 所 部 門	
	利用者数(名)	延利用者日数(日)	利用者数(名)	延利用者日数(日)
4	27	810	0	0
5	29	873	0	0
6	29	870	0	0
7	29	899	0	0
8	29	862	0	0
9	29	859	0	0
10	29	899	0	0
11	29	899	0	0
12	29	877	0	0
1	28	868	0	0
2	27	781	0	0
3	28	840	0	0
計	342	10,337	0	0

*入所部門の利用者数は各月末時点での在籍者数(入院者を含む)。

(2)令和5年度入所者及び退所者(短期入所を除く) (以下、令和6年3月31日現在)

入所者 8名 退所者 7名

(3)利用者の介護度 平均 3.9

(4)利用者の年齢 最高 102歳 最低 80歳 平均 88.3歳

(5)利用者の男女別数 (男) 1名 (女) 27名 計 28名

3. 主要行事等の実施状況

4月	花見ドライブ	お花見弁当	クッキング(焼き餃子作り)
5月	柏餅作り	宮浦喫茶	
6月	—	施設避難訓練参加	
7月	七夕会	おやつ作り(ところてん)	
8月	夏祭り		
9月	敬老会	おやつ作り(おはぎ)	高嶋神社祭り(獅子舞鑑賞)
10月	客前料理(厨房)	焼きそば	
11月	外食ドライブ(うどん)		
12月	クリスマス会	施設避難訓練参加	おやつ作り(焼き芋) クッキング(ラーメン)
1月	初詣ドライブ	お節料理	宮浦喫茶 鏡開き・おやつ作り
2月	節分豆まき		
3月	ひなまつり	客前料理(厨房)	お花見ドライブ おやつ作り(ぼたもち)

※上記以外に誕生日会を随時開催。

4. 地域・その他との交流の状況

支えあいサロン宮ノ浦でももたろう体操に参加し町内の方と交流をする。

支え合いサロン宮ノ浦にて買い物送迎支援サービスの開始(令和4年12月より、地域の独居高齢者や虚弱高齢者を対象に実施)

子ども会会長と話し合い行い、コロナ禍が落ち着くまで子ども会との交流を控える

宮浦町内の高嶋神社獅子舞鑑賞(宮浦荘へ獅子が来所し玄関先にて舞を披露していただく)

5. 実習生等の受け入れ状況

受け入れなし

6. ボランティアの受け入れ状況

受け入れなし

7. 広報・啓発活動

- ・施設パンフレットの配布
- ・介護サービス情報公表制度による事業内容の公開

8. 職員の配置状況(令和6年3月31日現在)

常勤職員 26名(介護士18、看護師2、介護支援専門員(介護士兼務)1
生活相談員・管理栄養士・機能訓練指導員・事務員各1、施設長1))

非常勤職員 6名(介護士1、宿直3、環境整備2)

9. 委員会等の開催状況

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| (1)メディカル委員会 | } | 3ヵ月ごとに開催 |
| (2)拘束・虐待委員会 | | |
| (3)感染防止委員会 | | |
| (4)事故防止委員会 | | |
| (5)給食委員会 | 毎月開催 | |
| (6)行事委員会 | 2ヵ月ごとに開催 | |
| (7)入所判定委員会 | 年1回開催 | |

10. 職員の研修等の参加状況

○施設内研修(テーマ別研修)の実施状況

- | | | |
|---------------|---|-------|
| (1)身体拘束及び虐待予防 | } | 年2回開催 |
| (2)感染対策及び褥瘡予防 | | |
| (3)事故防止 | | |
- ・事故防止委員会にて事故報告書記入の仕方研修
 - ・身体拘束防止委員会にて、身体拘束の種類や基本的な考え方のための研修
 - ・感染防止委員会にて手洗い研修・感染症発生時の防護服着用についての研修

○外部研修への参加状況

- ・スッキリわかる社会保険制度 事務職員
- ・排泄研修(パット・オシメの種類や当て方等:外部講師を招き実施)
- ・高齢者に多い脱水・トロミ剤の使用についての研修(外部講師を招き研修)
- ・接遇研修(新人研修と兼ねて法人内にて外部講師招き実施) 介護士
- ・ハラスメント研修(法人内にて各拠点の担当者が参加。社労士の方を招き講義形式で開催)

○その他 消防・防災(消火、避難)訓練 2回

水害訓練 2回

○宮浦荘 通所介護事業所

1. 利用者の推移

月	介護保険適用通所介護事業(介護予防)				介護保険適用通所介護事業(介護)			
	開所 日数	利用者数 (名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)	開所 日数	利用者数 (名)	延利用 日数(回)	1日平均 利用者数(名)
4	26	7	34	1.3	26	25	263	10.1
5	26	7	38	1.5	26	24	259	10.0
6	26	6	41	1.6	26	24	253	9.7
7	26	6	40	1.5	26	24	262	10.1
8	27	5	36	1.3	27	26	259	9.6
9	26	5	33	1.3	26	26	294	11.3
10	26	5	37	1.4	26	26	308	11.8
11	26	5	38	1.5	26	25	309	11.9
12	20	5	34	1.7	20	25	266	13.3
1	26	5	26	1.0	26	24	253	9.7
2	24	5	29	1.2	24	28	275	11.5
3	27	6	44	1.6	27	28	296	11.0
計	306	67	430	1.4	306	305	3,297	10.8

令和5年度1年間での新規利用(登録)者数 13名

2. 各種行事の実施状況

月	行事名	行事内容
4	外出行事	お花見ドライブ
	誕生日会・おやつ作り	花見弁当、誕生日会、おやつ作り(いちごパフェ)
5	誕生日会	食事会、誕生日会
	おやつ作り	おやつ作り(柏餅)
6	誕生日会	誕生日会、食事会
	おやつ作り	おやつ作り(たこ焼)
7	七夕	七夕かざりつけ、短冊書き
	料理・おやつ作り	七夕食事会(お寿司) 誕生日会、おやつ作り(ところてん)
8	夏祭り	ヨーヨー釣り、射的、輪投げ、かき氷、綿菓子、たこ焼き
	誕生日会	食事会、誕生日会
9	敬老会	カラオケ大会、ゲーム
	誕生日会	食事会、誕生日会
	おやつ作り	おやつ作り(わらび餅)
10	運動会	パン食い競争、玉入れ
	食事行事・おやつ作り	バーベキュー大会、誕生日会、おやつ作り(大学芋)
11	外出行事	紅葉ドライブ
	誕生日会・おやつ作り	食事会、誕生日会、おやつ作り(柿ケーキ)
12	クリスマス会	ツリー飾りつけ、おやつ作り(たこ焼)、カラオケ
	工芸・訓練	干支の貼り絵作り 火災・水害避難訓練(利用者参加型)
1	外出行事	初詣ドライブ
	食事行事	食事会、誕生日会、おやつ作り(ぜんざい)
	正月あそび	福笑い、すごろく、かるた、書初め

2	節分	豆まき、玉入れゲーム
	食事行事・おやつ作り	食事会、誕生日会、おやつ作り(チョコホットケーキ)
3	ひな祭り	記念写真・お雛様飾り付け
	外出行事	誕生日会・地域公民館へ文化祭の見学
	誕生日会	食事会・おやつ作り(三色団子) お花見ドライブ

＊上記以外に、毎月管理栄養士主催によるおやつ作りを実施。

＊デイサービス職員主催にて毎月、誕生日会を実施。

＊クラブ活動も定期的に開催し、書道・クラフト・園芸クラブ等実施。

3. 交流行事の実施状況

受け入れなし

4. 実習生等の受入状況

実習生受け入れなし

5. ボランティアの受け入れ状況

令和5年 5月 24日 地域のボランティアの方を招き「どじょうすくいの踊り」を披露していただく

6. 職員の配置状況(令和5年3月31日現在)

常勤職員	3名
非常勤職員・パート	5名
派遣職員	0名

7. 職員の研修等の参加状況

○事業所内研修・訓練

定期避難訓練(日中想定:12月20日実施:利用者参加)

感染症対策訓練(手洗い研修・感染防護服の使用について)

外部講師による研修(脱水予防とロミ剤の使用について)

○事業所外研修

(ジョウ・キンダーガーデン関係)

〈はじめに〉

令和 5 年度は、定員の変更はなく 19 名＋一時保育 9 名の定員でした。しかし、産休に入る職員がいたので、一時保育の利用枠は 3 名としました。また、令和 5 年度は開所して 3 期目ですが通年で 2 期目になるので、改善できる点を明確にしながら保育を行い、保育の質を高めることができるよう努めてきました。少しずつではありますが、子どもや職員が安定し、経営面でも見通しを持つことができるようになってきました。

1. 今期の重点目標

今期は、次の 5 つを重点目標として取り組んできました。

- ① 4 月から定員 19 名を受け入れること
- ② 体調不良児保育を行うために看護師の確保すること
- ③ 支援の必要な子どもに対してと保護者への支援を行うこと
- ④ やめない職場づくりを目指すこと
- ⑤ 保護者参加型行事に取り組むこと

2. 事業概況

①利用子ども状況

	在籍児童		一時保育	
	利用人数	延人数実績	利用人数	延人数実績
4 月	17	333	4	5 6
5 月	19	356	3	55
6 月	19	384	0	0
7 月	19	336	3	51
8 月	19	343	3	45
9 月	19	312	3	45
10 月	19	352	3	43
11 月	19	358	3	48
12 月	19	366	3	35
1 月	19	337	3	52
2 月	19	328	3	51
3 月	19	376	3	59
合計	226	4,181	37	540

3月末で認可園に転園する子どもが多く、4月にすぐ対応することができず、最初の目標だった「4月から19名を受け入れる」ことができず、17名でスタートしましたが、5月以降は一時保育を確保しておくことで常に定員を満たすことができました。年度途中に問い合わせもありましたが、職員1名産休に入っていたため、一時保育の新規利用の受け入れを中止しました。一時保育の年間目標を延人数301人としていましたが、目標を超える延540人の利用という結果になりました。

②体調不良児事業について

体調不良児事業を再開する為に、4月より看護師の確保に取り組みましたが、7月まで採用がずれ込み、事業を開始が8月からとなりました。体調不良児保育の利用数は低調に終わりましたが、看護師を雇用することで保護者の方から、体調面の管理がしっかりしてもらえんという安心感に繋がりました。

③個別の支援と保護者支援

19名のうち支援の必要な幼児が数名おり、園生活での個別支援を考えると共に保護者に受け入れてもらい、幼児のために家庭でも園でも協力体制が整うことができるように知らせてきました。保護者の方の理解もあり、療育に通い落ち着いた姿が見られるようになりました。

④辞めない職場づくり

・職員配置（令和5年3月31日）

常勤：8名（保育士5名（園長を含む） 連携推進員1名 管理栄養士1名 調理員1名）
非常勤：6名（保育士4名（週一2名） 看護師1名 調理員1名）

令和4年度に職員の退職が多く、保育の質も安定しない状態が続いていました。管理者会議をはじめ、個別に面談や職員とのミーティングをしたり、職員会議を増やしたりしながら、職場を「ヘルシーワークプレイス」とする方向性を打ち出すとともに、短時間常勤職員制度、病気休暇、不妊治療休暇の新設し、職員の労働条件の改善に努めてきたことで、退職者0を達成しました。

⑤保護者参加型行事について

新型コロナウイルスが2類から5類にかわり、行事の内容を見直し、今年度は夕涼み会とミニ運動会を年間行事に追加しました。たくさんの保護者に参加してもらい、子供の成長を見てもらったり、一緒に楽しんだりして職員と保護者との交流にもなりました。

	行事名	行事内容
4月	春の遠足	公共交通機関に乗って遠足
5月	内科検診	
6月	水遊び、歯科検診	
7月	七夕会 プール開き 夕涼み会	みんなでお話を聞く会 プールを出して遊ぶ 保護者参加の夏祭り

8 月	避難訓練（不審者）	年に 2 回義務
10 月	ハロウィン 秋の遠足	富山荘に仮装して遊びに行く 赤磐のふれあい公園の体育館でミニ運動会
11 月	内科検診 クッキング（くま組）	給食先生と一緒に料理をする
12 月	にこにこ会（発表会） クリスマス会 お餅つき	富山荘の地域交流スペースをかりて発表会ごっこ 富山荘にお邪魔して一緒にお餅つき体験
1 月	初詣 とんど焼き お正月週間 クッキング（くま組） 避難訓練（不審者）	沖田神社まで歩いてお参りする 園庭でお飾りや書初めをお焚き上げ お正月の遊びを楽しむ お好み焼きを作る 年に 2 回義務
2 月	豆まき 共立保育園と交流会（くま組）	鬼に仮装して鬼退治 共立保育園にお邪魔して劇団をみたりふれあい遊びをする
3 月	ひな祭り会 お花見遠足 クッキング（くま組）	お集りの会 ふれあいセンターや金田天満宮にお参りする パフェづくり

3. その他

①職員研修（園内/園外）

月	研修名	主催	月	研修名	主催
4 月	適切な保育の関りとは？	園内	10 月	安全研修 施設長研修 感染症予防対策研修	児童育成協会 児童育成協会 岡山市保健所
5 月	安全管理研修	保育・幼児教育課	11 月	認可外保育士保育従事者研修	岡山県
6 月	普通救命Ⅲ講習 保育士等研修会	保育・幼児教育課 岡山市保育協議会	12 月	防火管理者講習	岡山県
7 月	発達障害研修 認可外保育施設の施設長研修	ひかりんく 保育・幼児教育課	1 月		
8 月	認可外の従事者研修 発達障害研修 安全研修		2 月		
9 月	特別支援教育・障害児保育研修 障害のある子どもの理解 障害のある子どもの安心子育て支援研修	岡山市 岡山市 岡山市 岡山県	3 月		

※岡山県キャリアアップ研修を 4 名

児童育成協会のキャリアアップ研修を 3 名受講

避難訓練を毎月 1 回/不審者訓練は年に 2 回